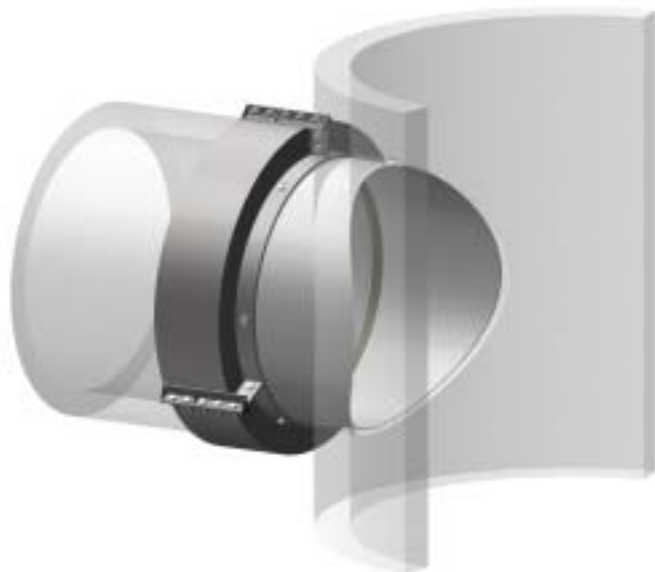


耐震可とう継手BMJ取付説明書

平成21年改定

(標準取付例)



帝国ヒューム管東日本株式会社

準備編

項目	ページ
1. B M J 鋼製部の荷姿	
2. 継手ゴム	
3. 副資材	・・・1
4. 準備していただく工具類	
5. 施工に使用する機材	
6. 取り付け対象管	・・・2
7. 管台の位置	
8. 管端部の状態	
9. 管のケレン・清掃	・・・3
10. 鋼製部材の分解	
11. 3分割バンドの状態	
11. ステンレススリーブの状態	・・・4

取付編

13. 継手ゴムの取付	
14. 継手ゴム 1 本目の位置	
15. 継手ゴム 2、3 本目をはめ込む	・・・5
16. パイプサポートのセット	
17. 継手ゴムの表面に滑材を塗布	
18. ステンレススリーブの位置決め	・・・6
19. 突込みスペースの確保	
20. 突込みスペースの確認	
21. ステンレススリーブと3分割バンドを固定する部分に水膨張性シール材を塗布	・・・7
22. アングル部防水版貼り付け	
23. 3分割バンドを装着する	
24. ステンレススリーブと3分割バンドのボルトを仮締めする	・・・8
25. 上部アングルからボルトを締め付ける	
26. 突込みスペースをもう一度確認	
27. アングル部の防水版がつぶれるまで締める	・・・9
28. ステンレススリーブと3分割バンドを完全に締め付ける	
29. 突込みスペースに発泡ウレタンを充填する	
30. 天井部の充填	・・・10
31. 発泡ウレタン充填量	
32. 発泡ウレタン充填完了	
33. B M J 取付完了	・・・11
34. 防護コンクリート固定	・・・12

ここでは、標準的な施工手順をご紹介しますが施工現場の状況によって、取付方法を変更する場合がございます。ご了承ください。

準備編

例： 1000 B形管用



1. B M J 鋼製部の荷姿

- ・鋼製バンド
- ・ステンレススリーブ



2. 継手ゴム

- ・ K Tマンホールジョイント3本



3. 副資材

副資材の仕様は変更する場合がございます。
それぞれの本数は口径によって異なります。

準備編



4.準備していただく工具類

- ラチェットレンチ
- ・取付管が 1500までのサイズ・・・24
- ・取付管が 1650から上のサイズ・・・27
- ・ステンレス固定用（共通）・・・12
- メガネレンチ（ラチェットと同様）
- コーキングガン
- カッター
- 刷毛（ウエスでも可）
- ガムテープ
- ボール
- 突込みスペース確保用キャンバー
- 40×100くらいを8個くらい
- 電動インパクトがあれば作業効率が
高いです。



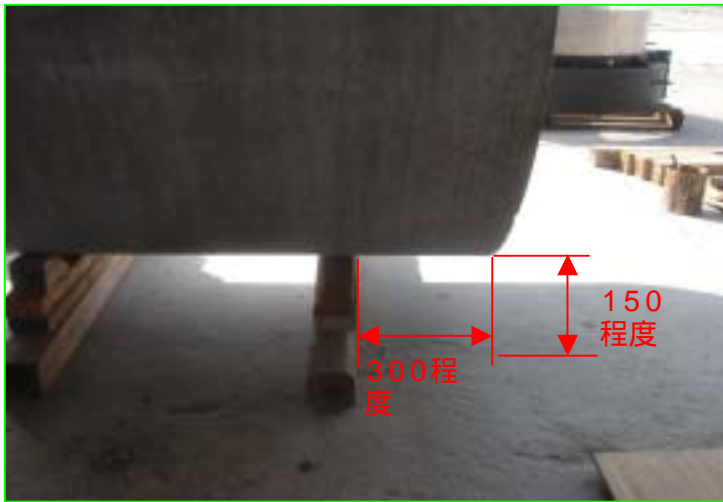
5.施工に使用する機材

- パイプサポート
- 写真はジャッキですが、一般的なパイプサポートで結構です。
- 角材
- ・長いもの・・・ステンレススリーブの幅+
例： 1000BMJ場合
ステンレススリーブ幅が300であれば
+1m程度で計1.3mの角材が必要
口径が大きなものになればステンレス
スリーブも重くなるので+ の部分は
調節してください。
（取付編16参照）
- ・短いもの・・・50cmくらい3本



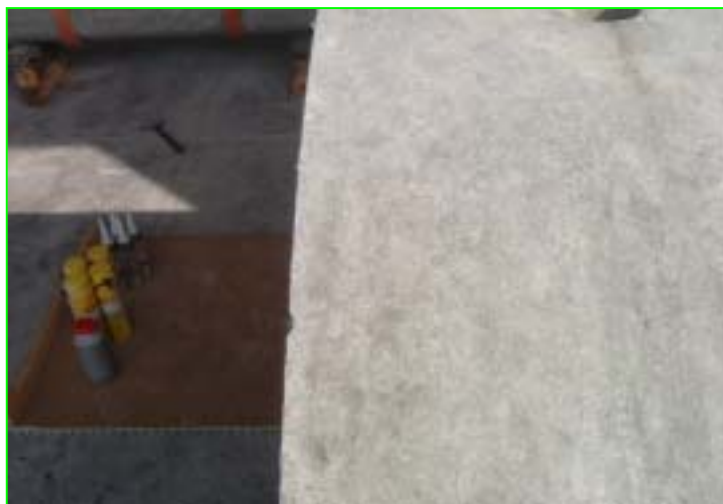
6.取り付け対象管

準備編



7.管台の位置

- ・横方向・・・300程度
- ・高さ・・・150程度



8.管端部の状態

- ・欠け、はがれ、ひびなどが無いかチェックします。



9.管のケレン・清掃

- ・管周りは凹凸、汚れ等が無いようにケレン清掃します。

準備編



10. 鋼製部材の分解

・ 鋼製部材のボルトを外し分解しておきます。



11.3 分割バンドの状態



11. ステンレススリーブの状態

取付編



13.継手ゴムの取付

・ゴムの山型を上に向け、管にはめ込みます。



14.継手ゴム 1本目の位置

・管端部より140mmの位置に1本目の継手ゴムを移動させます。



15.継手ゴム2、3本目をはめ込む

・継手ゴムの2、3本目を管端部から隙間無くはめ込みます。

取付編



16.パイプサポートのセット

- ・パイプサポートを管内に突っ張り、上部の角材を飛び出させます。
- ・角材をとび出させる寸法はステンレススリーブの幅程以上です。



17.継手ゴムの表面に滑材を塗布

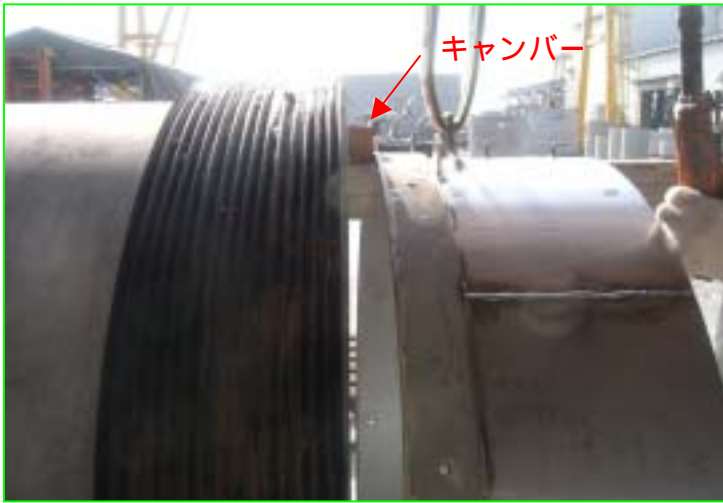
- ・継手ゴムの表面に滑材を万遍なく塗布してください。
- ・ゴムと3分割バンドを均等に締めるため非常に重要ですので、必ず塗ってください。



18.ステンレススリーブの位置決め

- ・上部の角材にステンレススリーブを預けます。

取付編



19.突込みスペースの確保

- ・突込みスペースを確保するため、あらかじめ用意しておいた突込みスペース確保用キャンバー（準備編4参照）を管端部とステンレススリーブの間に挟み込みます。
- ・キャンバーは角材に釘などで固定しても結構ですが、後で取り外すことが出来る状態にしてください。



20.突込みスペースの確認

- ・突込みスペースは基本的に4 c mです。
- ・隙間の確認をしてください。



21.ステンレススリーブと3分割バンドを固定する部分に水膨張性シール材を塗布

- ・ステンレススリーブ側に塗布できない場合は3分割バンド側でも結構です。
- ・水膨張性シール材は切れ目無く、円周に2列程度塗布してください。

取付編



22.アングル部防水版貼り付け

- ・アングル部にウレタン性の防水版を貼る
ボルト穴の位置を合わせて貼り付けてください。



23.3分割バンドを装着する

- ・3分割バンドは1辺ずつ、締め付けアングルが頂点にくるように装着してください。



24.ステンレススリーブと3分割バンドのボルトを仮締めする

- ・あくまで、仮固定なので最後までしめないでください。

取付編



25.上部アングルからボルトを締め付ける

・一気に締めないで、アングル3箇所を徐々に締めてください。



26.突込みスペースをもう一度確認

・完全に締め付ける前に突込みスペースを確認し、確保できてなければバール（準備編4参照）等で調節してください。



27.アングル部の防水版がつぶれるまで締める

・突込みスペースの40mmを設定し、アングル部の防水版が完全につぶれるまでボルトを締めてください。

取付編



28.ステンレススリーブと3分割バンドを完全に締め付ける

・アングル部のボルトを完全に締め付けたらステンレススリーブと3分割バンドのボルトを締めてください。



29.突込みスペースに発泡ウレタンを充填する

・突込みスペース40mmの間に発泡ウレタン（準備編3参照）を充填します。
・使用する前に約1分くらいよく振ってからお使いください。

発泡ウレタンは缶に書いてある注意事項を守ってご使用ください。

発泡ウレタンは人孔に敷設した後で充填することをお勧めいたします。



30.天井部の充填

・上部に充填する場合はガムテープやベニヤ板を型枠にして充填することをお勧めします。

取付編



31.発泡ウレタンの充填量

・発泡ウレタンの充填量は膨張することを考慮して管内面から1cm程度までで結構です。



32.発泡ウレタン充填完了

・発泡ウレタンは気温によって差異はありますが、3～4時間で膨張し硬化します。硬化したら、はみ出した部分をカッター等で切ってください。
・モルタル仕上げをする場合はモルタル代分を削って仕上げることをお勧めします。



33. BMJ 取付完了

・この状態で吊る場合は管本体にワイヤー及びスリンガーを掛けてください。
危険ですので、BMJにワイヤー等を掛けないでください。

取付編

34.防護コンクリート固定

- ・図のようにBMJは防護コンクリートで固定します。

